

ふれあうナカマ 見守る



ふれあうナカマ 見守る



学芸会で神楽を踊る3年生と、演奏する継承会の皆さん

は毎年、3年生が地域の伝統芸能である北方神楽を踊ります。9月の中旬から10月の本番まで、北方神楽継承会の方々に教えていただきながら練習をします。

継承会の方に取材したところ、神楽の正式名称は「鹿島流十六拍子南部神楽」といい、江戸時代から続いているそうです。数年前、後継者がおらず伝統が途絶えそうなときに、北方に一つしかない伝統芸能を守ろうと地域の方々が集まり、継承会を作ったそうです。

継承会の中心となっている方々の年齢は70代から90代です。地域の若い人たちに、大切な伝統芸能をこれからも受け継いでいってほしいという願いから、小学校で北方神楽の指導をしてくださっているそうです。



編集委員 上野莉緒、佐藤香、田口佳樹、富士原玲音、門田華佳(6年) 指導教諭 佐藤純

伝統の神楽

舞から感じた地域の歴史

北方小

学校名 登米市立北方小学校
所在地 登米市迫町北方富永110の5
電話 0220(22)2286
校長 菅原 克也
児童 196人



元気にあいさつ

コミュニティスクールである北方小では、毎月1日を「北方あいさつの日」として地域のみなさんとあいさつ運動をしています。あいさつを返してもらうとうれしくなります。通っていく車にも大きな声であいさつをすると笑顔で頭を下げてくださいるのでやりがいがあります。一緒に活動してくださっている地域のみなさんに感謝しています。



今回は 岩切小(仙台市) 湊小(石巻市)

小松島小

学校名 仙台市立小松島小学校
所在地 仙台市青葉区小松島2の1の1
電話 022(234)1354
校長 堤 英俊
児童 457人



見守るアイドル

小松島小には、卒業生のデザインによる「まつぼっくん」がいます。校庭にあるトトロの森の松の木から生まれたと言われている、みんなのアイドルです。児童会からのお知らせや、朝会の時の先生方のお話の中によく登場します。

私たちは、まつぼっくんに見守られて、毎日元気に過ごしています。



今年もみんなが楽しんでくれた傘踊り!

小松島小では、毎年6年生が5年生に踊り方を引き継ぎ、運動会や福祉コミュニティ祭り、こ

さつや世界各国の言葉でのあいさつ、じゃんけんあいさつ、あいさつ占いや各クラスが工夫してあいさつ運動に取り組んでいます。あいさつ運動をすることで、友達が増えて、地域の方々ともより深く知り合うことができ、一日のスタートがさわやかにになります。

また、小松島の地域には「傘踊り」という伝統芸能があります。この踊りは「高松しぐれ」とも呼ばれ、豊作や厄よけを願って90年以上前から踊り継がれてきました。



編集委員 小幡大誠、高橋龍之介、松尾爽加、丹野珠志、古内拓海、藤森諒太、芳賀妃莉、阿部和奏(6年) 指導教諭 細矢貴子、桜田さよ

心に笑顔を

あいさつ運動や「傘踊り」

小松島小学校の児童は、みんなとても元気がよく明るいです。児童会では「さかせよう みんな握手をしながらのあい

ま小祭で発表しています。地域の方々は、傘踊りを毎回大変楽しみにしており、いつも温かく声をかけてくださいます。難しいところもありますが、覚えるところリズムに乗って楽しく踊れるようになり、達成感を味わうことができます。